



全国交流セミナー

開催日：2011年 **6月16日** (木)・**17日** (金)

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

<第1日目：6月16日(木)>

- 13:00~13:10 研究会開催のご挨拶 (場所：センター棟 1階 101号室)
- 13:10~14:20 <第1部> 基調講演「自然を身近に体験する育ちと 持続可能な社会への道」
講演者：持続可能なスウェーデン協会・日本代表 レーナ・リンダル女史
- 14:20~15:00 <第2部> NAFA 子育て環境支援センター活動報告 (スライドショー)
- 15:10~17:00 <第3部> パネルディスカッション
- 17:30~19:00 交流会 (場所：宿泊D棟 9階 レストラン「さくら」)

<第2日目：6月17日(金)>

- 9:30~12:00 NAFA 森のようちえん体験 (場所：集合 代々木公園)

1日目 <第1部>

基調講演

13:10~14:20



テーマ：「自然を身近に体験する育ちと 持続可能な社会への道」

講演者： 持続可能なスウェーデン協会・日本代表 レーナ・リンダル 女史

～自然とふれあう保育・子育てからはじまる、より健康・安全・自然豊かな、子どもが希望をもてる社会づくり～

◎ なぜ、保育や子育てに自然を取り入れるべきなのか？
教育や社会の視点から見て、とても大切なこと！

◎ 日本の社会や子育て環境は、スウェーデンの視点からどのように見えるのか？

◎ 国際語「ESD」とは？ 保育や子育てに、どう関係しているの？
(ESD=Education for Sustainable Development 持続可能な開発のための教育)

【略歴】

1989年 以来東京滞在。
1990年 ー地球環境国際議員連盟「グローブ・インターナショナル」日本支部「グローブ・ジャパン」事務局勤務を経て、事務局長、総裁秘書。
2002年 ー「持続可能なスウェーデン・ツアー」の日本側コーディネーターと通訳を務める。
2005年 ー「持続可能なスウェーデン協会」(Sustainable Sweden Association) 日本代表。
2010年 同会、理事就任
2010年春、日本各地でスウェーデンの学校教育における自然学校の役割や活動内容、野外活動の意義を紹介するイベントを開催。

1日目 <第2部>

NAFA 子育て環境支援センター 活動報告 (スライドショー)

14:20~15:00

NAFA子育て環境支援センターでは、自然とのふれあいから笑顔の子育てと豊かな育ちを応援することを目的に、これまで幼児親子を対象とした数多くの自然あそびプログラムを企画運営してきました。近年では、自然あそびのノウハウや専門知識を活かし、全国の保育園・幼稚園に向けた、自然あそびプログラムの企画運営及び研修も実施しています。今回は、日々の保育・教育への導入事例を軸に、これまでの活動とその効果を写真と共に紹介いたします。

自主事業 NAFA 自然学校

- 森のようちえん
- 森の小学校
- 各種キャンプ
- 川遊び



先生方対象の指導者研修会

- 季節の自然あそび
- リスクマネージメント
- 遠足・お泊り保育のための野外保育研修会



全国の保育園・幼稚園での委託事業

- 森のほいくえん・森のようちえん
- 季節の自然あそび
- 遠足・親子遠足
- 年長児お泊りキャンプ
- 木育の取り組み

主催・お問合せ・お申込み * 別紙お申込み用紙にご記入の上、FAXにてお申込み下さい。



NPO法人 NAFA 子育て環境支援センター内
自然あそびと園をつなぐ研究会 PAPET 事務局
〒358-0054 埼玉県入間市野田1188-3 担当：牧

TEL: 04-2932-8734
FAX: 04-2931-4551
HP: <http://www.nafa.jp>
E-mail: shizen-asobi.papet@nafa.jp

テーマ：「自然あそびを自園に取り入れるためには、何が必要か？」

～ 人材・環境・制度の活用方法について ～

第1部2部の内容を踏まえ、事例をもとに、自然あそびを自園に取り入れるために必要な人材、環境、運営資金、制度活用の方法などについて、それぞれ専門の立場からお話を伺います。 * コーディネーター：NPO 法人 NAFA 子育て環境支援センター 理事長 畠山和人

< パネラーの紹介 >

地域と共に育てる“クリキンディの森”

宗教法人華王寺 川原保育園 富山県魚津市

園長 坂本 典子 氏

近くの山林を活用して、地元根付いた市民参加型の森作りを子どもたちと一緒に取り組んでいる。この森を「クリキンディの森」と名付け、卒園児や地元の方を招きアースデイの活動や日々の保育を森の中で過ごして「森のほいくえん」を展開している。

保育室で木との関りから学ぶ“木育”

学校法人二葉幼稚園 新潟県新潟市

園長 齋藤 聖治 氏

新潟市内にある90年来続く伝統ある園で、子どもたちに“木”を通して感性や創造力を豊かにするための「木育」を年間通して導入している。地元の森林組合の協力も得て、生活の中に木とふれあう機会を作ることで、“木”をテーマに年間行事が進められている。

自然あそびから豊かな言語表現へのつながり

千葉大学 教育学部教授

首藤 久義 氏

日本国語教育学会常任理事。国語教育研究を専門とし、国語科授業の改善、書くこと・読むこと・生活漢字等の学習支援、教科をこえた国語の広がりについて研究。ことばによるコミュニケーションの土台は心と心の通じ合いであると考え、心とことばの育ちを助ける教育の在り方を探究している。著書・論文・講演多数。2003年3月から半年間、ドイツの大学で客員研究員。2008年4月から3年間千葉大学教育学部附属幼稚園園長兼任。

国民運動推進の立場から、森と保育をつなぐ視点

社団法人国土緑化推進機構 政策企画部

木俣 知大 氏

「フォレスト・サポーターズ」運営事務局。東京農業大学大学院（林学修士）修了後、NPO 法人森づくりフォーラム研究員を経て現職。企業・NPO 等による森づくり活動の支援から、森林NPO や中間支援組織等の人材育成、森林分野の国民運動の展開などに携わる。セクターや分野を超えた連携・協働を通して、森林分野におけるイノベーションの促進を手掛ける。

企業のあそび場作り、子育て支援事業

株式会社ポーネルド

取締役

池上 貴久 氏

子どもの健全な成長に寄与するべく、優れたあそび道具と環境を提供している。「こころと頭とからだ」を存分に使って、生き生きとあそび、育つことのできる環境を作りたいという思いから同社が展開する、親子の室内遊び場「KID-O-KID」事業の責任者。現在は、子どもの育ちには、室内のみならず屋外で自然とふれあい小さな命の営みにふれる環境も大切と提唱し、乳幼児親子を対象に「森のえんそく」・「森のおさんぽ」を東京・横浜で展開している。

“自然あそび” から見えてきたもの

NPO 法人 NAFA 子育て環境支援センター理事長

事務局長・自然保育コーディネーター

高橋 京子

「自然と家族」をテーマにした「NAFA自然学校」の設立に参画。幼児・小学生親子に向けた自然体験活動を企画運営し、自然の持つ教育力・育ちの再生力を体感。そのノウハウを活用し、園の戸外保育・子育て支援プログラムを数多く実施。保育・教育関係者を対象にした「自然体験活動指導者養成講座」や講演も開催。日々の現場に自然あそびを安全に効果的に取り入れ、幼児期からの五感を通じた感性の育成に力を入れている。

1日目 17:30~19:00

(場所:同会場内 宿泊D棟 9階「レストランさくら」)

交流会

参加者同士の交流と、情報交換を行います。

2日目

NAFA 森のようちえん体験 (代々木公園)

9:30~12:00



NAFA「森のようちえん」は、北欧「森のようちえん」の視察研修で学んだものを、日本の子育てや保育・教育事情に即した形で、日々の生活や保育の中で展開しています。自然あそびの面白さ楽しさを子どもたちに伝えるために、まずは先生自身が、自然の中で楽しくあそび、小さな命の営みに気づく感性を育むことが大切です。今回は、NAFAが開催している「森のようちえん」を生活圏の中にある公園で、実際に体験して頂きます。



講師：NPO 法人 NAFA 子育て環境支援センター 自然あそびインストラクター 袋井 映理

<参加費> * 別紙お申込み用紙にご記入の上、FAXにてお申込み下さい。

	6月16日(木) *第1日目	6月17日(金) *第2日目
	セミナー 定員100名	交流会 定員70名
	9,000 円	5,000 円
PAPET会員	9,000 円	4,000 円
一般	10,000 円	5,000 円

後援：株式会社こども保育環境研究所
株式会社ポーネルド